

令和4年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和4年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	たまやま振興株式会社		所 管 課	産業振興課
所在地	〒 028 - 4134 盛岡市下田字生出893番地11			
電話番号	(019) 683 - 3215		設立年月日	平成9年9月5日
代表者	代表取締役社長 熊谷俊彦 ☐ 常 勤 ☒ 非常勤		☐ 市OB ☒ 市現職 ☐ その他	
設立目的	農村資源を活用した都市との交流を推進し、地域の活性化を図ると共に市民の保養と憩いの場として心身の健全化に向けて、利用推進を図る。			
主要事業	① 宿泊事業 ② クアハウス(温泉入浴)事業 ③ 食工房事業 ④ 郷土食販売事業 ⑤ 産直売店事業 ⑥ 地場産品・特産物の開発			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☒ ある (アドレス http://yutoland-himekami.com/)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☒ 事業内容 ☐ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法
盛岡市ホームページで出資法人としての行政評価を公表。同市情報公開室で決算関係書類閲覧可能。

3 職員構成

(単位:人)

		常勤			非常勤	合計	
			うち市OB	うち市派遣			
役員	取締役					8	8
	監査役					2	2
	計		0	0	0	10	10
職員	管理職	正職員	0			0	0
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員	7			0	28
		臨時職員	21	—	—		
	計	正職員	7	0	0	0	28
		臨時職員	21	—	—		
前年度と比較して職員数の増減			増 0	減 2	常勤職員の平均年齢		58 歳
常勤職員の給与体系							
☐ 法人独自の給与体系			☒ 市の給与体系を準用		☐ その他()		

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	55,000 千円	本市出資等額	47,500 千円	本市出資等割合	86.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市			(出資等割合	86.3 %)	
② 新岩手農業協同組合			(出資等割合	9 %)	
③ 岩手中央酪農業協同組合			(出資等割合	3.6 %)	
④ 盛岡市商工会議所			(出資等割合	0.9 %)	
⑤			(出資等割合	%)	
令和4年度における当 市の財的関与の状況	補助金	0 千円		(収入全体の	%)
	負担金・交付金	0 千円		(収入全体の	%)
	委託料	4,363 千円		(収入全体の	3.0 %)
	指定管理料	23,238 千円		(収入全体の	15.8 %)
	貸付金	0 千円		(収入全体の	%)
補助金内訳					
①			(令和4年度予算額		千円)
②			(令和4年度予算額		千円)
③			(令和4年度予算額		千円)
負担金・交付金内訳					
①			(令和4年度予算額		千円)
②			(令和4年度予算額		千円)
委託料内訳					
①	令和4年度盛岡市地域おこし協力隊活動推進事業支援業務委託費		(令和4年度予算額	4,363	千円)
②			(令和4年度予算額		千円)
指定管理料内訳					
①	盛岡市総合交流ターミナル指定管理料		(令和4年度予算額	23,238	千円)
②			(令和4年度予算額		千円)
③			(令和4年度予算額		千円)
貸付目的		(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設がある場合記入)
			盛岡市総合交流ターミナル【ユートランド姫神】		
			利用料金収入(令和4年度予算額)		119,900 千円
			法人の収入全体の		81.3 %

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合交流ターミナル【ユートランド姫神】
-------	------------------------

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和元年度	令和2年度	令和3年度
売上目標	千円	計画	123,500	99,272	108,900
		実績	123,201	82,308	92,703
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

(単位:千円, %, 人)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収支の状況	売上高(A)	123,201	82,309	92,703
	売上総利益	100,447	69,459	78,180
	販売費・一般管理費(B)	120,956	110,793	125,392
	営業利益	▲ 20,508	▲ 41,334	▲ 47,212
	経常利益(C)	9,483	10,031	2,333
	税引前当期純利益	9,483	10,031	2,333
	当期純利益	9,298	9,846	2,148
財産の状況	資産(D)	14,954	31,954	41,993
	うち流動資産(E)	13,193	30,729	39,139
	うち固定資産	1,761	1,225	2,854
	負債	14,218	21,372	29,263
	うち流動負債(F)	14,218	21,372	18,072
	うち短期借入金(G)			
	うち有利子負債(H)			
	うち固定負債			11,191
	うち長期借入金(I)			11,191
	うち有利子負債(J)			
純資産	純資産	735	10,582	12,731
	うち資本金(K)	55,000	55,000	55,000
	うち剰余金(L)	▲ 54,265	▲ 44,418	▲ 42,269
組織の状況	常勤役員数(M)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
組織の状況	職員総数(N)	31	29	29
	うち常勤職員数	31	29	29
	うち本市OB	1	1	0
	うち本市派遣職員			0
	うち管理職員数	1	0	0
	常勤役員比率(M/総役員数)	0.0	0.0	0.0
	管理職員比率	3.2	0.0	0.0
	職員新規採用数			1
	うち常勤職員数			1
経営指標	売上高経常利益率(C/A)	7.6	12.1	2.5
	販売費・一般管理費比率(B/A)	98.1	134.6	135.2
	流動比率(E/F)	92.7	143.7	216.5
	借入金依存度((G+I)/D)	0.0	0.0	26.6
	自己資本比率((K+L)/D)	4.9	33.1	30.3
	有利子負債比率((H+J)/(M+N))	0.0	0.0	0.0
	職員一人当たり売上高(A/(M+N))	3,974	2,838	3,196
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	①			
	②			
	③			
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	32,124	49,272	48,388
	①			
	②	32,124	49,272	48,388
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			
令和3年度決算の概要		令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大による影響を大きく受け売上高は計画未達の92,703千円となった。固定的経費については、期中に源泉汲み上げポンプが故障したことから、沸かし湯対応となった期間があり、燃料費と水道光熱費が増嵩される要因となったことから、昨対比で増加となった。売上高及び営業外収益143,619千円、売上原価及び販管費139,915千円となり経常利益2,333千円、当期純利益2,148千円となった。(追加を含む指定管理料は48,388千円) また、令和3年度の期中に日本政策金融公庫の新型コロナウイルス感染症特別貸付事業から20,000千円資金調達し運転資金を確保した。		

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

D	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, <u>D:大いに改善を要する</u>
(コメント) 令和2年度期に引き続き、令和3年度も純利益は通期で黒字となったが、指定管理施設の管理受託収入のテコ入れによるところが大きい。経常収支を加味しない営業損益は新型コロナによる影響を受ける前よりも大幅に悪化しており数字上は改善の兆しが見られない。引き続き経営改善に注力する必要がある。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和2年度決算において黒字である。	○	
2	令和3年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。	○	
4	令和3年度決算において減価償却前黒字である。	○	
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		○
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		○
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		○
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。	○	
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		○